

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	浄化槽設置整備事業	会計名称	一般会計		担当課	都市住宅課	
		予算科目	4 款 1 項 9 目	事業番号	5482	所属長名	三谷陽紀
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	小寺卓也	
法令根拠等	浄化槽法、建築基準法、伊予市浄化槽設置整備事業補助金交付要綱				実施期間	【開始】	平成 17 年度
総合計画での位置付け	快適空間都市の創造 潤いのある水環境づくり					【終了】	平成 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	子どもからお年寄りまでが快適に生活できる環境を構築						
事業の対象	下水道等 (公共下水、農業集落排水) の整備計画区域以外の市民、下水道整備計画区域内の公共下水道事業認可区域を除く区域の市民			事業の目的	河川、海等の公共用水域の水質保全や生活環境の改善を図ることを目的とする。		
事業の内容 (整備内容)	・浄化槽の適正な設置及び維持管理を行う方を対象に、合併処理浄化槽の新設、汲み取り便槽または単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への設置替えに対し、伊予市浄化槽設置整備事業補助金交付要綱に基づき補助金を交付する。 ・浄化槽整備特別会計に対する繰出金			昨年度の課題に対する具体的な改善策	公共下水道計画区域の見直しに伴い、新たな浄化槽区域を区長会にて説明する。		

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	29 年度実績	30 年度予定	9月末の実績	30 年度実績
直接事業費	39,952	45,046	△ 10,385	0	0	31,963	設置整備基数	基	45	70	23	50
財源内訳												
国庫支出金	4,584	7,182	△ 2,984	0	0	4,198						
県支出金	1,064	2,136	△ 1,368	0	0	768						
地方債		0	0	0	0	0						
その他		0	0	0	0	0						
一般財源	34,304	35,728	△ 6,033	0	0	26,997						
職員の人工 (にんく) 数	0.05	0.05				0.05						
1人工当たりの人件費単価	8,017	7,982				7,982						
※ 直接事業費+人件費	40,353	45,445				32,362						
主な実施主体	直接実施・浄化槽設置者		実施形態 (補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)		浄化槽設置整備事業費補助金							
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					31 年度	32 年度	33 年度	34 年度	35 年度	5年間の合計		
					38,702	38,702	38,702	38,702	38,700	193,508		
成果指標	指標	整備率=設置整備基数累計÷計画基数	単位	⇒	区分年度	29 年度	30 年度	31 年度	目標	毎 年度		
		%	目標		100	100	100	100				
	指標設定の考え方	循環型社会形成推進交付金事業実施計画において、H29~H31浄化槽 (個人設置型) の設置整備を毎年70基計画しており、計画基数に対する設置整備基数を成果指標「整備率」とする。	実績		64	71						
指標で表せない効果												

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		転換の設置基数が伸び悩んでおり、更なる未整備住宅への周知が必要である。										
事務事業の評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	4	合計点が	A	事業成果・工夫した点 事業の苦勞した点・課題	広報及びHPによる周知により、昨年度より設置基数が増加した。			
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に対応しておらず、見直しが必要である。	4					14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D		
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 今のところ市の関与・実施は妥当と判断できる。	3							
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	3	合計点が				A	整備には自己負担が必要であり、未整備住宅への理解を求める必要がある。	
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	4							14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D
			施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進につなげられていない。	3							
	効率性	手段の最適性	手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	3	合計点が	B					
			コスト効率	5 4 3 2 1 活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。	3				14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D			
			市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認める。	3							
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	4	合計点が			A	事業の方向性	■ 事業継続と判断する。 □ 事業縮小と判断する □ 事業廃止と判断する (判断の理由) 公共下水道及び農業集落排水の区域以外は、この事業で整備されており、平成30年10月に公共下水道整備区域を縮小し、浄化槽の整備区域が拡大されたため、必要である。	
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に対応しておらず、見直しが必要である。	4							14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 今のところ市の関与・実施は妥当と判断できる。	3							
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	3	合計点が	A						
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	4			14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D					
		施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進につなげられていない。	3								
効率性	手段の最適性	手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	4	合計点が		A	所屬長の課題認識	公共下水道区域外についてはこの事業を活用し整備する必要があるため、周知啓発に努めなければならない。			
		コスト効率	5 4 3 2 1 活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。	3						14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D		
		市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認める。	3								

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。 国が進めるコンパクトシティ推進の動向を見極めながら、国の浄化槽補助も縮減方向であり、今後、市の補助制度の方向性を示し、事前に市民周知を考えなければならない。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断	事業の方向性	コメント欄	
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	
	<input type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	右記の点を見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を行う。	
<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を行う。		